

平成29年度 日臨技臨床検査精度管理調査

(専用機器でご参加される場合の参考としてご利用ください)

測定装置		
コード	測定装置	企業名
BBJ704	モジュラーアナリティクス Dモジュール	ロシュ・ダイアグノスティクス
BBJ705	モジュラーアナリティクス Pモジュール	ロシュ・ダイアグノスティクス

項目	試薬						検量						トレーサビリティ コード
	コード	試薬名	方法(処方)	方法小分類	検量	試薬 製造販売	コード ^①	名称	標準液基材	標準液 上位標準	表示値 設定企業	標準液 販売企業	
グルコース	942001	リキテック・グルコース・HK・テスト	ヘキソキナーゼ法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
総ビリルビン	107001	ネスコートVL T-BIL	酵素法	-	血清ベース標準液	アルフレッサ	942003	ネスコートBIL標準	ウシアルブミンをベース	NIST	アルフレッサ	ロシュ	企業の標準品
直接ビリルビン	107001	ネスコートVL D-BIL	酵素法	-	血清ベース標準液	アルフレッサ	942002	ネスコートBIL標準	ウシアルブミンをベース	NIST	アルフレッサ	ロシュ	企業の標準品
カルシウム	942002	自動分析用カルシウム「RD」	OCPC法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
鉄	326001	クイックオートネオ Fe	Nitroso-PSAP法	-	溶媒ベース水溶性標準液	シノテスト	942001	Fe標準液「ロシュ」	水溶液で粘度調整なし	CERI	シノテスト	ロシュ	企業の標準品
マグネシウム	942002	リキテック Mg II	色素法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	NIST	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
総蛋白	942002	リキテック総タンパク	ビュレット法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	NIST	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
アルブミン	942002	リキテックアルブミンプラス	BCG法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	IRMM	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
	201002	アクアオートカイン ALB試薬	BCP改良法	-	血清ベース標準液	カイン	942003	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	IRMM	カイン	ロシュ	企業の標準品
尿酸	942002	リキテックUA プラス	ウリカーゼ POD法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
尿素窒素	942001	リキテック BUN	アンモニア未消去法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
クレアチニン	942002	リキテック クレアチニンPAPII	酵素法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
	201003	アクアオートカイン CRE-III plus	酵素法	-	血清ベース標準液	カイン	942003	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	カイン	ロシュ	企業の標準品
総コレステロール	222001	デタミナール TC II	コレステロール酸化酵素法	-	血清ベース標準液	協和	942001	デタミナー標準血清脂質用RD	血清をベース	NIST	協和	ロシュ	企業の標準品
中性脂肪	222001	デタミナール TG II	酵素比色法	遊離グリセロール消去	JSCC/ReCCS基準_血清ベース	協和	942001	デタミナー標準血清脂質用RD	血清をベース	ReCCS	協和	ロシュ	企業の標準品
HDLコレステロール	222003	メタボリド HDL-C	阻害による直接法	-	血清ベース標準液	協和	942003	メタボリド標準血清HDL・LDL-C RD	血清をベース	ReCCS	協和	ロシュ	企業の標準品
LDLコレステロール	222002	メタボリド LDL-C	直接法	-	血清ベース標準液	協和	942003	メタボリド標準血清HDL・LDL-C RD	血清をベース	ReCCS	協和	ロシュ	企業の標準品
CRP	465004	CRP-ラテックスX2「生研」NX	ラテックス比濁法	汎用機 / ERM-DA470 /ウサギ	血清ベース標準液	デンカ	942002	CRPX2標準液 NX	血清をベース	IRMM	デンカ	ロシュ	企業の標準品
AST	942003	リキテック GOT IFCC	JSCC標準化対応法	-	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
ALT	942002	リキテック GPT IFCC	JSCC標準化対応法	-	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
ALP	942001	リキテックALP II	JSCC標準化対応法	2-エチルアミノエタノール またはN-エチルアミノエタノール緩衝液	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
LDH	942001	リキテック LDH JSCC	JSCC標準化対応法	乳酸→ピルビン酸反応	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
AMY	942003	リキテック AMY EPS	JSCC(IFCC/JCLS)標準化対応法	4,6エチルピレン-G7-pNP基質	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
CK	942001	リキテック CK-NACプラス	JSCC標準化対応法	-	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
γ-GT	942001	リキテック γ-GT IFCC	JSCC標準化対応法	-	酵素キャリブレーター	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
尿グルコース	942002	リキテック・グルコース・HK・テスト	ヘキソキナーゼ法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
尿クレアチニン	942002	リキテック クレアチニンPAPII	酵素法	-	血清ベース標準液	ロシュ	942001	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	ロシュ	ロシュ	企業の標準品
	201003	アクアオートカイン CRE-III plus	酵素法	-	血清ベース標準液	カイン	942002	自動分析用キャリブレーター II	血清をベース	ReCCS	カイン	ロシュ	企業の標準品

平成29年度 日臨床臨床検査精度管理調査

(専用機器でご参加される場合の参考としてご利用ください)

●電解質

測定装置		
コード	測定装置	企業名
BBJ706 ⁴⁾	モジュラーアナリティクス用電解質測定ユニット	ロシュ・ダイアグノスティクス

電解質項目	試薬				
	測定原理 (検体希釈)	検体希釈	方法		
ナトリウム	電極法	希釈法	イオン選択電極法/希釈法 (間接法)	血清ベース標準液	積水
カリウム	電極法	希釈法	イオン選択電極法/希釈法 (間接法)	血清ベース標準液	積水
クロール	電極法	希釈法	イオン選択電極法/希釈法 (間接法)	血清ベース標準液	積水

平成29年度 日臨床臨床検査精度管理調査

(専用機器でご参加される場合の参考としてご利用ください)

●免疫

測定装置		
コード	測定装置	企業名
BBJ704	モジュラーアナリティクス Dモジュール	ロシュ・ダイアグノスティクス
BBJ705	モジュラーアナリティクス Pモジュール	ロシュ・ダイアグノスティクス

項目	試薬					
	コード	試薬名	方法(処方)	標準品由来	検量	試薬製造販売元
梅毒TP抗体	363002	RDS用 メディエースTPLA	ラテックス比濁法 (汎用機器)	-		積水
IgG	465002	IgG-TIA NX「生研」	免疫比濁法 (汎用機器)	ERM-DA470	ヤギ	デンカ
IgA	465002	IgA-TIA NX「生研」	免疫比濁法 (汎用機器)	ERM-DA470	ヤギ	デンカ
IgM	465002	IgM-TIA NX「生研」	免疫比濁法 (汎用機器)	ERM-DA470	ヤギ	デンカ
RF定量	465001	RF-ラテックスX1「生研」	ラテックス比濁法 (汎用機器)	WHO	-	デンカ
RPR	363003	RDS用 メディエースRPR	ラテックス比濁法 (汎用機器)	-		積水

<ご注意ください>

- ① トレーサビリティにおいて、「8：企業の標準品」を選択する場合、キャリブレーターを測定し、正確性を確認してください。
キャリブレーター以外の物質でトレーサビリティを確認される場合や 補正が行われている場合の標準液とトレーサビリティは、「その他」に該当します。
- ② 測定範囲以上の結果の場合、自動希釈再検または手による希釈再検を実施してください。
- ③ 基準範囲(判断値)の報告欄には、施設にて採用されている「基準範囲」を報告して下さい。